



西部メディカルだより

健康チェックは「ちくせい総合健診センター」で

人間ドック・脳ドックで身体を定期点検

人間ドックの重要な役割は、自覚症状のない「がん」や「生活習慣病」を初期段階で発見し、早期治療につなげることです。健康寿命を延ばすためにも、年に1回検査をしましょう。

【問】ちくせい総合健診センター ☎24-9135

予約はこちら



人間ドック

み
つ
か
る
病
気

がんの早期発見
糖尿病
高血圧
脂質異常症
心臓病
腎臓病 など

「何もないと思っていた」そんな人ほど人間ドックで異常が見つかることがあります。



脳ドック

み
つ
か
る
病
気

脳梗塞
脳動脈瘤
頸動脈プラーク
脳腫瘍
脳卒中リスク など

受診してプラークがあると言われて生活習慣を見直すきっかけになりました。



ちくせい総合健診センターの特徴

1 胸部レントゲンと胃部内視鏡にAI画像診断を活用し、読影医師の診断と合わせて精度の高い結果を提供します。

2 脳ドックを受けた当日に、脳ドック専門医が面談で的確な診断とアドバイスをを行います。

救急車の適正な利用を

緊急性がない救急搬送に選定療養費がかかります

県では、重篤な救急患者の受け入れなど大病院が本来の役割を果たし、救急医療体制を維持できるよう、**救急搬送時に緊急性が認められない場合**に、対象病院において選定療養費を徴収しています。救急車の適正な利用をお願いします。

【問】県医療政策課 ☎029-301-2689



救急車の
有料化ではありません

■対象病院 病床数 200 床以上の県内 23 病院が対象

・市内 西部メディカルセンター

選定療養費 7,700 円

・つくば市 筑波大学附属病院／筑波メディカルセンター病院／筑波記念病院／筑波学園病院

■緊急性が認められない可能性がある症状（例）

- ・軽い切り傷のみ
- ・微熱のみ
- ・軽い擦り傷のみ
- ・打撲のみ
- など

病院の診断時に軽症でも救急車要請時に緊急性が認められる場合は、選定療養費はかかりません。

例）熱中症、小児の熱性けいれん、てんかん発作 など

命に関わるような緊急時は、**迷わず救急車**を呼んでください。



救急車を呼ぶか迷ったら、救急電話相談へ電話してください。

茨城県 **救急電話相談** 24 時間 365 日／相談無料

おとな（15 歳以上）

7 1 1 9

子ども（15 歳未満）

8 0 0 0

つがらない場合 ☎050-5445-2856